

子宮頸がん検診要精検者の HPV タイピング検査における細胞像の
検討 福島県保健衛生協会 塚原孝

子宮頸がん検診要精検者の HPV タイピング検査
における細胞像の検討

○ 塚原 孝¹⁾ 栗田 和香子¹⁾ 佐藤 奈美¹⁾

神尾 淳子¹⁾ 森村 豊²⁾ 古川 茂宜³⁾

5 添田 周³⁾ 渡辺 尚文³⁾ 西山 浩³⁾

藤森 敬也³⁾

公益財団法人 福島県保健衛生協会¹⁾

北福島医療センター 婦人科²⁾

公立大学法人 福島県立医科大学医学部産

10 科婦人科学講座³⁾

【目的】

子宮頸がん検診要精検者の HPV タイピング
検査結果と細胞像との関連を知る目的で、
HPV タイピング検査で陰性およびローリスク
15 者から発見された要治療病変の細胞像につ
いて検討した。

【対象と方法】

2011 年～ 2013 年の要精検者に施行した精
密検査において、HPV タイピング検査（PCR
20 法）とコルポ下組織診検査を実施した 413 名

子宮頸がん検診要精検者の HPV タイピング検査における細胞像の
検討 福島県保健衛生協会 塚原孝

を対 象 と し た 。 は じ め に 、 対 象 症 例 を 次 の
4 つ の HPV 型 別 に 分 類 し た 。 ① HPV 非 検 出 で あ
っ た 29 例 を 陰 性 群 (NE 群) 、 ② 6/11/26/42/44/
53/54/55/61/62/66/70/71/73/82/84/90/cp6108 型 の 18 タイ
25 プ が 検 出 さ れ た 35 例 を ロ ー リ ス ク 群 (LR
群) 、 ③ 39/51/56/59/68 型 の 5 タイ プ が 検 出 さ
れ た 67 例 を ハ イ リ ス ク 群 (HR 群) 、 ④ 16/18/
31/33/35/45/52/58 型 の 8 タイ プ が 検 出 さ れ た 282
30 例 を ウ ル ト ラ ハ イ リ ス ク 群 (UHR 群) に そ れ
ぞ れ 分 類 し 、 CIN3 以 上 の 検 出 率 を 調 べ た 。
次 に 、 NE 、 LR 群 から 発 見 さ れ た 要 治 療 病 変
(全 て CIN3 例) 5 例 の 細 胞 像 を 検 討 す る た
め に 、 比 較 対 照 と し て 、 UHR 群 の 要 治 療 病 変
63 例 の 中 か ら CIN3 が 確 認 さ れ た 56 例 を 選 択
35 し 、 そ の 中 か ら 無 作 為 に 10 例 を 抽 出 し て そ
れ ぞ れ 比 較 検 討 し た 。

【 結 果 】

UHR 群 の 中 で 要 治 療 病 変 例 は 63/282 例
(22.3 %) で あ り 、 そ の 中 で CIN3 は 56 例
40 (88.9 %) で あ っ た 。 ま た 、 NE 、 LR 群 で

は、5/64 例（7.8%）であり、すべて CIN3 であった。

細胞像は、UHR群では HPV 型別にかかわらず、N/C比が高くクロマチンの増量を認める
45 小型異型細胞が多数見られた。NE、LR群の
4/5 例（80%）は、HPV感染所見を認め、小型
異型細胞が少数出現していた。

【まとめ】

ハイリスク HPV 検査（ハイブリッドキャプ
50 チャー 2 法）が陰性（HPV タイピング検査で
陰性およびローリスク）であっても、要治
療病変例が検出されることがある。これら
の細胞像では、HPV感染所見の中に、CIN3 を
示唆する小型異型細胞が出現していること
55 があるので、細胞像を詳細に観察すること
が重要であると思われた。